



= 根郷地区民児協だより =

やまゆり

第 39 号 : 令和 6 年 5 月  
根郷地区民生委員児童委員協議会  
発行責任者 : 会長 小林眞智子



## 民生委員・児童委員の日 活動強化週間

5/12~5/18

~ 支えあう 住みよい社会 地域から ~

5/12日~18日は「民生・児童委員の活動強化週間」  
全国 23 万人の民生・児童委員が一齐に様々なPR活動を  
展開し、広く地域の皆様に民生・児童委員の存在や活動  
について知っていただき、**身近な相談相手、見守り役、  
行政のつなぎ役**として活動しています。

何かお困りの時は、守秘義務がありますので安心して、  
地区の民生・児童委員にご相談してください。  
一緒になって考えていきます。



### 根郷地区民生・児童委員協議会について

根郷地区は毎月第2木曜日、南部地域福祉センターで、定例会を開催。  
民生・児童委員、主任児童委員(29名)が参加し、行政、市社協、南部包括支援センター  
等の出席のもと、依頼事項の説明・協議、質疑応答、委員間の活動確認や意見交換を  
しながら、毎月の活動を進めています。《下の写真は定例会(4班でのグループ討議)の様子》



### 地域みんなで新入生を見守りましょう!

入学から1ヶ月が過ぎ、新しい生活にも徐々に慣れてきた頃と思います。  
児童が交通ルールを守って通学できるよう地域で見守りましょう!

おはよう  
気をつけて!

- ★ 急な飛び出しはしていませんか?
- ★ お友達とお話して、横に広がって歩いていませんか?
- ★ 信号をちゃんと見て渡っていますか?
- ★ もしも怪我や事故にあったら、おうちの方に相談してください。  
おうちの方もすぐ叱らないで、お話しをよく聞いてあげてください。
- ★ 自転車に乗る時は、スピードを出しすぎないで走ってください。  
(歩道の走行可は、13歳未満の子どもと70歳以上の高齢者)



この地区の民生・児童委員は

小林 眞智子 (TEL 090-3573-4823)

# 防災を考える 《 災害への備えを見直そう 》

今年元旦に発生した「能登半島地震」から4ヶ月、いまだに厳しい避難生活が強いられており、一日も早く平穏な日常が訪れますようお祈りいたします。

最近、周辺においても、地震が多く、災害は他人事ではありません。家族で防災について話し合い、いざという時の備えを確認しましょう！

## 《 防災の基本は「自助」・「共助」・「公助」 》

- ★「自助」・自分(家族)の命は自分(家族)で守る
  - ・自宅の災害対策(転倒防止、耐震化)
  - ・食料の備蓄(ローリングストック)
- ★「共助」・自分たちのまちは自分たちで守る
  - ・地域、近隣でお互いに助け合う
- ★「公助」・避難所(市内39ヶ所)の管理
  - ・行政や社協等の公的な支援

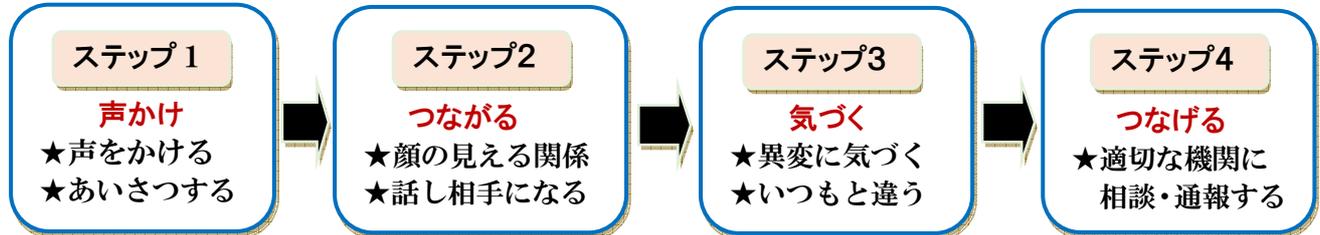


## お互いさまの支えあい (災害時の助けあいにも)



益々、少子高齢化が進み、地域の中で孤立しがちな人が増えています。民生・児童委員は、日頃から身近な相談相手として見守りをしていますが、高齢社会の中では、皆さんとともに進める見守り活動が重要です。まずは、ご近所どうし「あいさつ、声かけから始めましょう！」顔の見える関係ができれば、絆も深まり、災害時の助けあいにもつながります。

★「見守りって何をすればいいの？」⇒ 隣近所の人を気にかけて、つなぐこと



★ご近所の異変に気づいたら、地区の民生・児童委員や自治会の役員等に連絡してください。関係機関と連携しながら一緒に対応していきます。



## ウエルシア薬局《うえたん号》の移動販売がスタート

千葉県初  
第1号

◆ 佐倉市内31ヶ所の販売場所にて、食料品や日用品の販売 ◆  
《 根郷地区 ⇒ 藤治台調整池横、コミュニティまわし、神門神社隣り、山王集会所 》

- ★ 事前注文すれば、薬品の販売も可能
- ★ 店頭と同価格でポイントも付与
- ★ 公共料金などの支払いも可能
- ★ オンラインによる健康・栄養相談



《山王集会所にて》

令和6年3月1日から、高齢者等の生活支援地域の見守り、コミュニティの活性化を目的として、佐倉市とウエルシア薬局(株)との連携協定に基づく移動販売が開始。販売場所は地区の民生・児童委員にお尋ねください。

